

日本乳がん検診学会教育委員会 US Hands On インストラクターズ
「初心者むけ乳房超音波検査ハンズオン実習セミナー」

グループ長:中島 一毅(川崎医科大学)

乳房超音波検査は、乳房の精密検査のみならず、乳房併用超音波検査でも行われ始めました。
多くの皆様は JABTS で刊行している「乳房超音波診断ガイドライン」をお読みになり、
学習されて、実際の検査にあたられると思います。

しかし、ガイドラインに掲載されているような
診断の役に立つ超音波画像を撮像するにはある程度のスキルが必要です。
乳房超音波検査は使用している周波数帯域が高く、
特に探触子のあて方、装置の設定が大きく画質に影響します。
札幌市ではすでに乳房超音波併用検診を始められているようですので、
特にこの超音波の撮像画質は重要です。

そこで、JABTS52 では、
「日本乳癌検診学会教育研修委員会 US Hands On インストラクターズ」に依頼し、
これから乳房超音波検査を始める方、我流で撮像技術に自信のない方むけに、
きちんとした乳房超音波画像を撮影・保存できるようになるための撮像技術指導実習を開催いたします。

最初に 30 分ほどのビデオ教材を視聴していただいてから、実習を受けていただきますが、
実習はすべてマンツーマンです。
各自の技量にあわせてスキル向上を指導いたします。
乳房超音波に高いスキルをもつスペシャリスト揃いですので、個別に質問にも対応できると思います。
おそらく開始前と後では雲泥の撮像技術向上を実感できるでしょう。

参加資格は JABTS52 に参加手続きをしていることだけで、この実習自体は無料です。
残念ながら実習枠が 25 枠しかありませんので、基本早いもの順(申し込み順)です。
ただし企画の趣旨として、初心者・キャリアの短い方を優先いたします。

11 月初めまでに受講可能、受講可能時間帯をメールで連絡致します。
申し込みの遅れた方はキャンセル待ちの案内もいたしますが、
いままでキャンセルが出たことは殆どありません。早めの応募、宜しくお願いいたします。